

1 「なごや子ども市会」 のあらまし

名古屋市会では、名古屋市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、自分たちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験し、市政に対する興味・関心を高めるとともに、子ども同士の話し合いや岩手県陸前高田市の子どもたちとの交流を通じ、お互いを思いやる心をより一層育む機会を設けるため、また、あわせて本年は、熊本地震で被災した熊本市の子どもたちにメッセージを送るため、「なごや子ども市会」を開催しました。

子ども市会では、6つの委員会(グループ)に分かれ、メインテーマ「大好きな名古屋を笑顔があふれるまちにしよう～届け、わたしたちの思い～」のもと、名古屋市の施設見学や本会議で意見を発表するための事前の話し合いを行いました。

8月6日(土)の子ども市会本会議において、平成24年度から「なごや子ども市会」で交流を続けている陸前高田市の子どもたちと熊本地震で被災した熊本市の子どもたちに、子ども議員一人一人が考えてきたメッセージを送ることを全会一致で採択し、その後、陸前高田市の子どもたちと熊本市の子どもたちに送りました。

(1)子ども市会の流れ

「子ども市会開催前 事前課題」

陸前高田市の子どもたちとの交流の一環として子ども議員一人一人のメッセージを送るため、「陸前高田市の子どもたちへのメッセージ」を考えてきました。

また、熊本地震で被災した熊本市の子どもたちに子ども議員一人一人のメッセージを送るため、「熊本市の子どもたちへのメッセージ」を考えてきました。

「1日目：7月22日 事前説明会・事前研修会①」

7月22日の事前説明会・事前研修会①では、6つの委員会に分かれて名古屋市の施設を見学しました。その後、委員会ごとに委員長と副委員長を決めて、子ども市会本会議で発表する内容について話し合いました。

「2日目：8月1日 事前研修会②」

8月1日の事前研修会②では、それぞれの委員会に分かれて、子ども市会本会議で発表する「委員会の意見」を話し合いました。

6つの委員会が終わった後、子ども議員全員が本会議場に集まり、子ども議長と子ども副議長の立候補者が所信表明（立候補した理由、正副議長になった場合の抱負を発表すること）を行ったあと、子ども議長と子ども副議長の選挙を行いました。

また、平成24年からメッセージの交換などを続けている陸前高田市の伊藤明彦市議会議員から挨拶がありました。

「最終日：8月6日 子ども市会本会議」

子ども市会の本会議では、まず委員会ごとに、施設見学や話し合いをもとに考えた「委員会の意見」の発表を行いました。

その後、陸前高田市・熊本市の子どもたちへのメッセージを送ることを全会一致で採択しました。

(2) 募集と応募

6月20日から7月4日まで子ども議員75人の募集を行いました。その結果、200人の応募があり、厳正な抽選をして、子ども議員75人を選出しました。

